

第 23 期第 1 回 大会実行委員会議事録

日時：2021 年 4 月 18 日(日) 13:00-15:00

場所：オンライン (zoom)

議長：足立芳宏

記録：高田晋史

出席者：秋津元輝、浅見淳之、足立芳宏、大仲克俊、鬼頭弥生、草処基、ケジャブ・マハラジャン、清原明子、関根佳恵、高田晋史、辻村英之、中塚雅也、南石晃明、西村武司、野中章久、松下秀介、堀田学、増田忠義、矢倉研二郎、山口道利、山下良平、(以上 20 名、五十音順)

1) 浅見会長より挨拶がなされた。

【議題および報告】

(1) 実行委員会組織(役割分担)について (庶務)

まず、足立庶務担当理事より、昨年度のオンライン大会の実施体制について説明があり、それを基に今年度の体制について議論がされ、外部委託はせずに実施することが決定された。

特に、トラブルが起こった時の対応について議論がされ、複数の zoom ID を準備しておくこととなった(予備部屋は足立庶務担当理事もしくは鬼頭庶務担当理事、大会シンポは松下企画担当理事、国際シンポについては増田国際化担当理事のアカウントを使用する)。

続いて、高田庶務担当理事より大会実行組織について説明がされ、各持ち場の責任者を決定した。

(2) スケジュールについて (庶務)

鬼頭庶務担当理事より、オンライン大会の実行委員会作業スケジュールについて説明がなされ、内容の決定を行った。

(3) 大会の準備状況について (企画)

松下企画担当理事より大会シンポジウム企画案(第 71 回)、大会プログラム、大会講演の趣旨・内容、および準備のスケジュールについて説明がなされた。

オンライン大会企画運営委員として間々田会員、木原会員、渡部会員の 3 名を選任することが提案された。

コロナ禍への対応がテーマのミニシンポジウムについては、同様のテーマでシンポジウムが実施された農村計画学会の討論内容も参考にしながら議論された。また、個別報告におけるコロナ関係の報告との関係についても議論された。さらに、ミニシンポジウムという名前は国際ミニシンポと混乱するので呼び名についても再度検討することとなった。

大会シンポジウムについて、非会員の参加は、昨年と同じように事前に学会への申請があった場合に認めることとなった。

(4) 大会予算案について (会計)

山口会計担当理事より、大会予算案について説明がなされ、承認された。

(5) 国際ミニシンポについて (国際化)

マハラジャン国際化担当理事より国際ミニシンポの企画案について説明がなされ、承認された。

矢倉編集担当理事より、報告の後の学会誌への掲載について、もし報告者全員が希望するのであれば査読なしでの掲載を認めるとの方針が示された(上限 8 頁)。

最後に、秋津副会長より挨拶があり閉会した。

以上